

交換留学プログラム 帰国アンケート

作成者情報

・ 氏名	國澤 龍之介		
・ 学部・学科	大学院理工学研究科 国際理工学専攻		
・ 性別	男性		
・ 学年（参加開始時）	修士1年生		
・ 後輩からの質問メール可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 否	
・ イニシャルでの記載を希望する	<input type="checkbox"/> 希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 希望しない	

プログラム基本情報

・ 参加プログラム種別	交換留学（研究室配属型）	・ 国名・地域名	アメリカ合衆国・ネバダ州
・ プログラム開始日	2019/11/25	・ プログラム終了日	2020/1/12
・ このプログラムに参加した理由、きっかけ			

異文化交流、語学力向上、研究の促進のため。かねてよりネイティブの国で生活してみたかった。

留学先情報

・ 国名・大学・機関・企業名	アメリカ合衆国	ネバダ大学ラスベガス校
・ 主な履修科目もしくは研究内容	機械学習を用いた非侵入型の音声品質推定	

滞在先情報

・ 滞在先の種類	一般住居（アパートなど）	・ 宿泊先手配方法	留学先スタッフの仲介
・ 空港⇄留学先機関の交通手段	留学先スタッフの補助、または徒歩		
・ 通学／通勤方法	徒歩		
・ 滞在先の様子	治安はいいとは言えないが、ある程度発展しており、生活しやすい。車が無いと日々の生活は少し不便。物価が日本より高いので注意		

留学についての感想

二ヶ月留学してみて、現地の生の生活を体験する事が出来た。研究室の学生達、スタッフはとても親切で家に遊びに行ったりしたのは良い思い出となった。ネイティブの中での生活は自分の英語を試すいい機会であったが、より単語に関して事前に学習しておくべきだった。また、食文化がハンバーガーやピザを中心としているため、合わない人には合わないと感じた。

参加を検討している方へのアドバイス

アメリカで研究してみたい！という方にはお勧めできるプログラムです。プログラム費用が少し高いのですが、それに見合う経験はできると思います。情報系の学生であれば学会に合わせて行くのがいいかもしれません。

写真4枚(留学/研修先、滞在先、その他参加プログラムの様子がわかるもの)

写真を4枚を貼り付け、それぞれの写真に説明分を加えて下さい。写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

写真①



説明文

現地の学生とハイキング

写真②



説明文

教授達と進捗報告会

写真③



説明文

ラボの学生の家と一緒にランチ

写真④



説明文

休暇を利用してセドナへ

必要な事前準備 (生活面・留学面)

・ VISA申請時に必要な書類	<input checked="" type="checkbox"/> 残高証明書	<input checked="" type="checkbox"/> 証明写真	<input checked="" type="checkbox"/> その他	DS-2019, I901等
・ 入居時に必要だった書類	<input type="checkbox"/> 健康診断証明書	<input type="checkbox"/> その他	()
・ その他必要な事前準備				

留学中の費用（概算）

<支出>

内訳	金額（日本円）	備考
往復航空券代+ビザ申請料	20万	
保険料	3万	
授業料/学期	36万	
通学・通勤費用/月		
住居費/月		
食費/月	5万	人によると思います、節約すればもっと減らせます
交際費/月	2万	遊びに行く回数次第
その他費用		

<奨学金情報>

奨学金名	金額
芝浦工業大学 海外留学奨学金	8万円/月

※画像含むコンテンツの無断転載を禁じます。



交換留学プログラム 帰国アンケート

作成者情報

・ 氏名	E. K.		
・ 学部・学科	大学院理工学研究科 システム理工学専攻		
・ 性別	男性		
・ 学年（参加開始時）	修士1年生		
・ 後輩からの質問メール可否	<input type="checkbox"/> 可	<input checked="" type="checkbox"/> 否	
・ イニシャルでの記載を希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない	

プログラム基本情報

・ 参加プログラム種別	交換留学（研究室配属型）	・ 国名・地域名	アメリカ合衆国・ネバダ州ラスベガス市
・ プログラム開始日	2019/11/25	・ プログラム終了日	2020/1/12
・ このプログラムに参加した理由、きっかけ			

自身の研究を進めることと語学力の向上.

留学先情報

・ 国名・大学・機関・企業名	アメリカ合衆国	ネバダ大学ラスベガス校(UNLV)
・ 主な履修科目もしくは研究内容	研究テーマ：災害後におけるUAVと機械学習利用した個人状態判別システムの開発 実施内容：上空画像を想定した電柱に設置してあるWebカメラからのカラー画像と赤外線画像からの人物検出およびデータセットの取得	

滞在先情報

・ 滞在先の種類	一般住居（アパートなど）	・ 宿泊先手配方法	留学先スタッフの仲介
・ 空港⇄留学先機関の交通手段	行き:現地学生による送迎 帰り:公共交通機関(バス)		
・ 通学/通勤方法	徒歩(片道15分)		
・ 滞在先の様子	2人で1室を利用。キッチンあり。		

留学についての感想

留学期間がホリデーシーズンと被っていたため、学校に来る生徒が少なく同時に学生と接する機会も少なかった。実際のネイティブの英語を数週間体験できることはとても良かった。短い期間ではあったが、研究室のゼミにも数回参加しディスカッションを通してお互いの研究について理解を深めることができた。より知識を獲得するためにもっと自ら先生や生徒たちに働きかければよかったと思う。学生スタッフの献身的なお世話のおかげで十二分に文化体験をできたと思う。

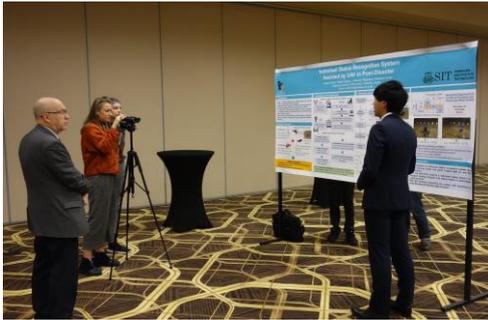
参加を検討している方へのアドバイス

11月下旬は"Thanks giving day", 12月下旬は"X'mas holiday"により大学の休みが増えるので学生との交流はあまり多くなかった。また、自分はプログラム終盤の1月に学会参加、技術展示会の参加をプログラム内に包含していたので予定があったが、通常だと大学は休日シーズンなのでお正月気分ホテル内にこもりきってしまうリスクがある。

写真4枚(留学/研修先、滞在先、その他参加プログラムの様子がわかるもの)

写真を4枚を貼り付け、それぞれの写真に説明分を加えて下さい。写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

写真①



説明文

1月開催の国際学会への参加

写真②



説明文

現地学生とアリゾナ州へハイキングへ

写真③



説明文

CES2020への最新技術調査

写真④



説明文

素敵なステーキ！！

必要な事前準備 (生活面・留学面)

- ・ VISA申請時に必要な書類
- ・ 入居時に必要だった書類
- ・ その他必要な事前準備

残高証明書 証明写真 その他 DS2019

健康診断証明書 その他 ()

留学中の費用（概算）

<支出>

内訳	金額（日本円）	備考
往復航空券代+ビザ申請料	¥241,879	
保険料	¥28,270	
授業料/学期	¥363,000	
通学・通勤費用/月	¥0	
住居費/月	¥0	授業料に含む
食費/月	¥25,000	
交際費/月	¥10,000	
その他費用		

<奨学金情報>

奨学金名	金額
芝浦工業大学 海外留学奨学金	80,000円/月額

※画像含むコンテンツの無断転載を禁じます。

交換留学プログラム 帰国アンケート

作成者情報

・ 氏名	相馬 大知
・ 学部・学科	大学院理工学研究科 システム理工学専攻
・ 性別	男性
・ 学年（参加開始時）	修士1年生
・ 後輩からの質問メール可否	可
・ インシヤルでの記載を希望する	<input type="checkbox"/> 希望する <input checked="" type="checkbox"/> 希望しない

プログラム基本情報

・ 参加プログラム種別	交換留学（研究室配属型）	・ 国名・地域名	アメリカ合衆国ネバダ州ラスベガス市
・ プログラム開始日	2019/11/25	・ プログラム終了日	2020/01/12
・ このプログラムに参加した理由、きっかけ			

指導教員からの推薦

留学先情報

・ 国名・大学・機関・企業名	アメリカ合衆国	ネバダ大学ラスベガス校
・ 主な履修科目もしくは研究内容		
現地の実験室に配属され、週1度のゼミにて指導教員と学生とのディスカッションを行った。 自身の研究内容の紹介を行ったり、現地学生からの研究の進捗を聞いたりした。		

滞在先情報

・ 滞在先の種類	ホテル	・ 宿泊先手配方法	留学先スタッフの仲介
・ 空港⇄留学先機関の交通手段	バス		
・ 通学／通勤方法	徒歩		
・ 滞在先の様子			

留学についての感想

現地配属研究室の指導教員と学生達とともに自身の研究内容に関して議論を行うことで、修士研究の質を高められたと思う。
また学会発表では研究者や学生の方と意見交換や議論を行うことができ、研究を行う上でのモチベーションを高めることができた。
Consumer Electronics Showへの参加は自身が目指すキャリアパスに関してとても参考になった。
また、現地の学生たちと交流を通して、英語を話すことの抵抗がなくなりつつあると感じた。

留学中の費用（概算）

<支出>

内訳	金額（日本円）	備考
往復航空券代+ビザ申請料	¥226,300	
保険料	約3万円	
授業料/学期	¥370,002	
通学・通勤費用/月		
住居費/月	授業料に含む	
食費/月		
交際費/月		
その他費用		

<奨学金情報>

奨学金名	金額
芝浦工業大学 海外留学奨学金	8万円/月

※画像含むコンテンツの無断転載を禁じます。

交換留学プログラム 帰国アンケート

作成者情報

・ 氏名	M. K.	
・ 学部・学科	大学院理工学研究科 システム理工学専攻	
・ 性別	男性	
・ 学年（参加開始時）	修士1年生	
・ 後輩からの質問メール可否	<input type="checkbox"/> 可	<input checked="" type="checkbox"/> 否
・ イニシャルでの記載を希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない

プログラム基本情報

・ 参加プログラム種別	交換留学（研究室配属型）	・ 国名・地域名	アメリカ合衆国
・ プログラム開始日	2019/11/25	・ プログラム終了日	2020/1/13
・ このプログラムに参加した理由、きっかけ			

研究室の指導教員に紹介されて、研究留学として参加しました

留学先情報

・ 国名・大学・機関・企業名	アメリカ合衆国	ネバダ大学ラスベガス校
・ 主な履修科目もしくは研究内容		

国際インターンシップ

滞在先情報

・ 滞在先の種類	一般住居（アパートなど）	・ 宿泊先手配方法	留学先スタッフの仲介
・ 空港⇄留学先機関の交通手段	現地スタッフの送迎とバス		
・ 通学／通勤方法	徒歩		
・ 滞在先の様子	キッチンがついているホテルでした。週に1度ハウスキーピングが入るので部屋も清潔で過ごしやすかった		

留学についての感想

現地の学生との交流や観光により、アメリカ西部の文化や歴史、自然などを学ぶことができました。特にグランドキャニオンなどは長い年月をかけた壮大な景色がありコツコツ積み重ねる重要さなどが確認できた。また、日本では決して見れない景色に触れることで自分の人生が変わるきっかけのように感じた。学業面では、私はIT系の分野の研究を行っており、アメリカには世界中から研究者が集まっているので議論により研究を深めることができた。また、留学期間中にCES2020があり、世界中から新技術や新アイデアなどが集まっており、いい刺激になった。

参加を検討している方へのアドバイス

今回の留学は日本では経験できない体験の連続でした。自分の学業面だけではなく、進路や人生にいい影響があると思います。

写真4枚(留学/研修先、滞在先、その他参加プログラムの様子がわかるもの)

写真を4枚を貼り付け、それぞれの写真に説明分を加えて下さい。写真はそのまま掲載しますので、掲載してもよい写真を貼り付けてください。

写真①



説明文

現地のスーパーバイザーとのランチの写真。

写真②



説明文

CESに参加した時の日本のスタートアップブース展示されていたアンドロイド

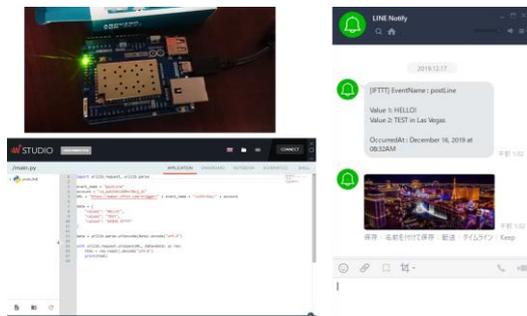
写真③



説明文

初日の出によって赤く照らされたグランドキャニオン

写真④



説明文

現地で作成した簡単なアプリケーション

必要な事前準備 (生活面・留学面)

- VISA申請時に必要な書類
- 入居時に必要だった書類
- その他必要な事前準備

残高証明書 証明写真 その他 ()

健康診断証明書 その他 ()

留学中の費用（概算）

<支出>

内訳	金額（日本円）	備考
往復航空券代+ビザ申請料	¥241,879	
保険料	¥28,270	
授業料/学期	¥363,000	
通学・通勤費用/月	¥0	
住居費/月	¥0	授業料に含まれている
食費/月	¥30,000	
交際費/月	¥20,000	
その他費用		

<奨学金情報>

奨学金名	金額
芝浦工業大学 海外留学奨学金	8万円/月

※画像含むコンテンツの無断転載を禁じます。